

主な二国間協議及び現地調査（令和6年度）

対象品目 （検査命令項目等）	二国間協議	現地調査等 実施年月
カナダ産牛肉等 （BSE）	令和6年5月に現地調査を実施し、牛肉等の対日輸出認定施設において対日輸出プログラムが遵守されていることを確認した。	令和6年5月
米国産アーモンド （アフラトキシン）	令和2年11月から協議開始。米国政府においてアフラトキシンに係る対策が図られたことから、令和6年9月に現地調査を実施し、条件を満たす一部アーモンドについて検査命令を免除とした。	令和6年9月
米国産牛肉等 （BSE）	令和6年10月に現地調査を実施し、牛肉等の対日輸出認定施設において対日輸出プログラムが遵守されていることを確認した。	令和6年10月
アイルランド産牛肉等 （BSE）	令和6年10月に現地調査を実施し、牛肉等の対日輸出認定施設において対日輸出プログラムが遵守されていることを確認した。併せて牛肉加工品の対日輸出認定予定施設において分別管理が徹底されていることを確認した。	令和6年10月
韓国産青とうがらし等 （残留農薬）	令和6年5月に輸入時検査において、残留農薬管理プログラム（ID制度）に登録されていた企業において違反事例があったことから残留農薬に係る衛生管理等について、韓国の青とうがらし農園の現地調査を実施し、衛生管理状況を確認した。	令和6年10月
韓国産養殖ひらめ等 （動物用医薬品）	令和5年12月に輸入時検査において、対日輸出用ヒラメ衛生管理要綱に基づき登録されている企業において、違反事例があったことから動物用医薬品に係る衛生管理等について、韓国のひらめ養殖場の現地調査を実施し、衛生管理状況を確認した。	令和6年10月
ベトナム産えび等 （動物用医薬品）	令和6年11月に、えびにおける違反が増加傾向であることから、動物用医薬品に係る衛生管理等について、ベトナムのえび養殖場および水産食品加工施設の現地調査を実施し、衛生管理状況を確認した。	令和6年11月